

カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2018年10月20日～2018年10月26日の推移】

【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドルは対米ドルではおおむね横ばいとなり、対円では下落しました。また、カナダ5年国債利回りは低下しました。

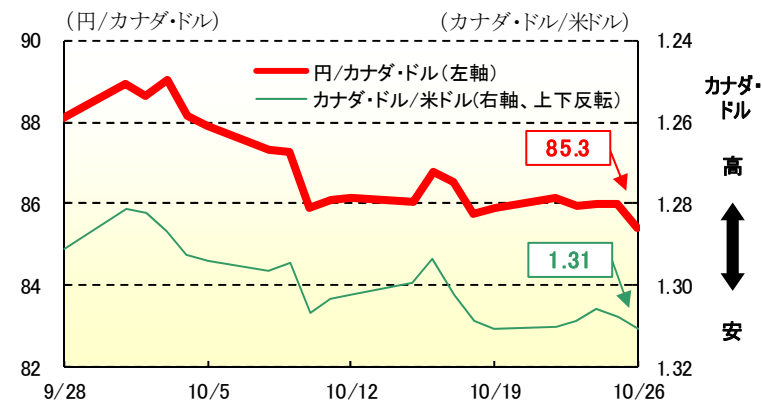
先週は、カナダで金融政策決定会合が開催され、カナダ銀行(中央銀行)は政策金利(翌日物金利の誘導目標)を0.25%ポイント引き上げて1.75%としました。利上げは市場予想通りでしたが、声明文で追加利上げに前向きな姿勢が示されたことなどを受け、カナダ・ドル、カナダの金利は急伸しました。しかし、米国株式市場が軟調に推移したことを受けて、投資家のリスク回避姿勢が高まったことなどを背景に金利は低下し、円高圧力が強まったため、カナダ・ドルは対円で下落しました。

【2】今週の見通し

今週は、カナダで雇用統計やGDP(国内総生産)、米国でも雇用統計や貿易収支の発表があります。これらの結果が良好なものになれば、市場での利上げ期待が更に強まることが予想され、カナダの金利、通貨の上昇圧力になることが考えられます。

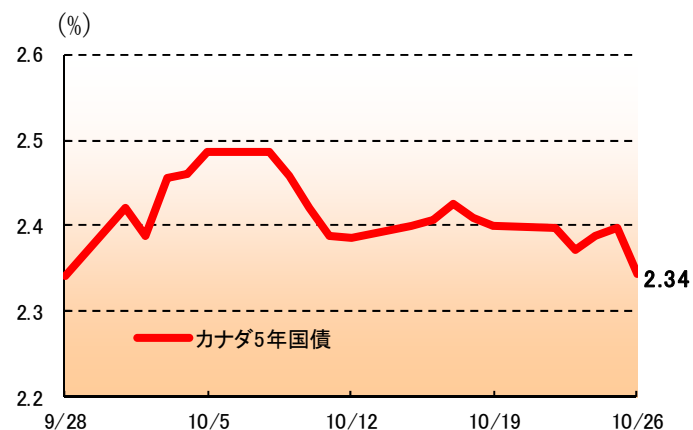
しかし、足元では株式市場は軟調に推移しており、投資家のセンチメントが落ち着いていないことは、カナダ・ドル、カナダ金利の上昇圧力を抑える要因となるため、株式市場の動向が注目されます。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2018年9月28日～2018年10月26日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【カナダ 金利推移】 (2018年9月28日～2018年10月26日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>